

平成 28 年 10 月 28 日

平成 27 年度学校評価の自己評価の報告書

大阪電気通信大学高等学校

校 長 大 音 博 司

「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」に示された「学校評価」をするために「学校内部評価アンケート」との名称で全教職員に実施しました。その内容を基本資料とし学校自己点検・評価委員会を開催しました。平成 27 年度「学校内部評価アンケート」及び平成 27 年度生徒満足度アンケート結果・平成 27 年度保護者満足度アンケート結果も参考資料とし、平成 27 年度本校の主な取り組みの成果と課題等について検討しました。その結果をご報告いたします。

1. 学習意欲・成果向上を目指す取り組み

本校教育目標 一.『すべての生徒に確かな知識を与えます』

平成 27 年度も、学習の動機付け及び進路指導の一環として、大阪電気通信大学をはじめとした高・大連携授業を普通科・電子工業科とも展開しました。

WG「特別進学講座検討委員会」の提案を基に平成 27 年度新 1 年生から、進学意識の高い生徒を対象にした特別進学講座を学校全体として実施し、3 年後の上位大学への合格・進学実績向上を目指しました。

そのために、進路指導部長及び英語・数学・国語・理科の教科教諭からなる作業部会「UPT 委員会」を平成 27 年 1 月から発足させ具体的な検討、対処を開始しました。

スローランナーの生徒に対するフォローとして、従前にはない学年・教科の連携・指導を強化し、様々な創意工夫をこらして、生徒ひとりひとりをサポートしました。

【実施内容】

1. 高・大連携授業、普通科・電子工業科とも推進しました。
2. 特別進学講座、進学実績向上を目指して推進しました。
3. UPT 委員会、現状の課題点の対策について検討しました。

【取り組みの成果】

1. 高・大連携授業では今年度は特に追手門大学との連携が強化され、受験者が増えました。結果、前年度の 7 名から今年度は 23 名が進学しました。

2. 4年生大学への進学率が年々上昇しており、前年度が78%で今年度は79%と上位大学も含めて上がりました。
3. スローランナーの生徒のフォローとしてサポートしました。教員の自己評価アンケートの結果と生徒アンケートの結果で教員が力を入れていると思っているほど生徒は思っていないことがわかった。

<自己評価>

[◎ ・ ○ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 高・大連携授業、普通科・電子工業科とも今後とも強化推進します。
2. 今後も特別進学講座、進学実績向上を目指して推進します。
3. スローランナーの生徒のフォローとして今後とも全力でサポートします。生徒と教員の意識のズレがないように改善していきます。

2. 生き方を教え、健康な生徒を育てる取り組み

本校の教育目標 一. 『人間の生き方を教える教育をします』

一. 『心身ともに健康な生徒を育てます』

人間としての基礎力に当たる社会的マナーを向上させる指導に努め、「良いこと」、「悪いこと」の分別の備わった生徒育成を図りました。具体的には、挨拶励行、時間厳守及び登下校中における電車内での乗車マナー、道路上での交通マナー向上を図る啓発活動を行いました。

心身を蝕む薬物乱用について、その防止講習会を平成27年度も継続して実施しました。

また、平成27年度において、いじめ防止対策に関する規則を制定するとともに、いじめ防止等に対する基本的な取り組み指針を公表しました。いじめ事象の発生・深刻化を防ぐとともに、生徒自身の、いじめを許さない人間らしい生き方を育んでいく本校の教育姿勢を明確にし、生徒指導に取り組みました。

WG「心身健全育成検討委員会」の提案を踏まえ、平成26年度から取り組んでいる次の教職員の努力目標を平成27年度も引き続き掲げて生徒に臨みました。

- 一、生徒に対して丁寧なことばで接しよう。
- 一、生徒に対して率先して挨拶声かけをしよう。
- 一、生徒に対しては迅速な対応につとめよう。
- 一、身だしなみについては生徒の垂範となるべく努力しよう。

【実施内容】

1. 社会的マナーの向上を目指し、挨拶励行・時間厳守の指導をしました。
2. 昨年に引き続き薬物乱用防止講習会を開催して、指導しました。
3. いじめ防止対策に学校全体で取り組み、指導をしました。
4. 教職員努力目標 4 か条を遵守して、生徒に対応しました。

【取り組みの成果】

1. 社会的マナーは向上し、特に挨拶や言葉遣いなどは良くなっています。
2. 薬物乱用防止講習会を開催結果、生徒たちの意識が高まりました。
3. いじめ防止対策に学校全体で取り組み、いじめの事例は 0 件でした。
4. 教職員努力目標 4 か条を遵守して、生徒との関係は良好でした。

<自己評価>

[◎ ・ ○ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 今後ともマナーの向上を目指し、特に時間厳守の指導を強化します。
2. 今後とも引き続き薬物乱用防止の指導を継続します。
3. 今後ともいじめ防止対策に学校全体で取り組みます。
4. 今後とも教職員努力目標 4 か条を遵守して、日ごろ生徒と接します。

3. 退学者を減らす更なる取り組み

平成 20 年度 6.4%【61 名】あった退学者が、平成 24 年度 5.0%【55 名】、平成 25 年度 3.9%【45 名】、平成 26 年度 2.7%【29 名】と改善され、平成 27 年度は、2%台を目指して取り組んできました。

学力の向上、きめ細かな生徒指導等を通して、平成 27 年度は、退学につながりかねない定期試験での不正行為 0 名を目指すとともに、特別指導処分者数も一桁台に抑制できるように取り組みました。

【実施内容】

様々な理由で退学する生徒が毎年います。今年度も中学校時より不登校であった生徒が学校になじめず欠席が続き、進路変更で専門学校等へ転校する生徒が多いです主に担任が中心に生徒・保護者への指導をしました。

【取り組みの成果】

退学者 32 名(3.2%)でした。昨年度は 26 名(2.4%)でした。

<自己評価>

[◎ ・ ○ ・ △ ・ ☒]

【今後の取り組み】

退学が決定する前の早期の段階で、複数教員の指導が出来る体制づくりを検討し、新しいしくみをつくります。また、スクールカウンセラーの活用も検討します。

※ 各種本校評価より

毎年度末に、教員による「自己評価アンケート」を実施してきましたが、平成 27 年度からは、大阪府からの指摘事項を受けて、本校の当該年度の重点実施目標及びその取り組みと成果に関する事項を含めた「自己評価アンケート」として実施しました。

教員対象の自己評価アンケートの回答より、8. 9. 10.の財務関係、12.情報公開、18.19.の人権教育、20.21.の環境教育、22.健康・食育、26.ボランティア、35.36.37.38.39.40 教員研修 という項目の結果に否定的な回答がありました。

特に 12. の保護者などへ授業公開している。40. 研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。という項目の結果が あまりあてはまらない・まったくあてはまらない の回答が多く。

また、15. 地域や地域住人との交流ができています。 20. ゴミ、リサイクル、省エネなどなど、身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。 26. ボランティア活動は活発だ。 38. 初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。 39. 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。という項目でも回答が あまりあてはまらない が多く。

この結果を受けて、それぞれの項目に対しての取り組みを検討し、取り組みを強化してまいります。

本校のWG「満足度調査委員会」提案に基づき、平成26年3月卒業生及び保護者を対象とした「本校評価アンケート」を実施しました。

この調査は、本校の教育方針・活動（授業・補習・クラブ活動・行事・教職員対応・教育設備・施設等）に関する40項目（保護者27項目）についての満足・不満足度を問うものです。

回収率は、98%（保護者約55%）でしたが、平成27年度も引き続き実施し、特に保護者の回収率を高める努力とアンケート結果に基づく満足度のさらなる向上、及び不満足度改善を目指しました。

卒業生対象の学校評価アンケートの回答より、10.電通高生としての誇りが持つことができた 31.生徒会活動は活発であつた 36.学校施設全般は充実していた また、保護者対象の学校評価アンケートの回答より17.クラブ活動は活発であつた等々の評価が低く平成27年度からは、保護者・同窓会・地域住民を構成員に加えた「学校関係者評価委員会」を発足しました。

本校の評価及び保護者・地域住民との連携に係る審議・評価が行われました。この評価は、教員の「自己評価」と併せ、本校のHPにて公表しました。

教員による自己評価アンケート

1. 授業参観機会の不足。
2. 校外の教員研修等に参加不足。
3. 地域との交流不足。
4. 財務関係の情報不足。
5. 挨拶などマナー・礼儀の指導の成果が上がった。

生徒による学校評価アンケート

1. 電通高生として誇りを持ってない生徒が多い。
2. 学校施設全般に満足していない生徒が多い。
3. 生徒会活動やクラブ活動が全般的に活発でない。
4. 遅刻や欠席に対しての指導に熱心だった。
5. クラスの居心地が良かった。

保護者による学校評価アンケート

1. クラブ活動が全般的に活発でない。
2. 学校施設・設備が充実していない。
3. 電通高に入学させて良かった。
4. 事務職員は丁寧に対応してくれた。
5. 教員の保護者への対応は適切であった。

【実施内容】

1. 教員による自己評価アンケートを実施しました。
(内容は重点実施目標及びその取り組みと成果の 50 項目)
2. 卒業生・保護者による本校評価アンケートを実施しました。
(卒業生 40 項目・保護者 27 項目)
3. 初めて、学校関係者評価委員会開催しました。
(保護者、同窓会、地域住民で本校の評価)
4. 本校ホームページに公表しました。(上記 1.2.3.の内容)

【取り組みの成果】

今年度初めて学校関係者評価委員会を開催し、保護者代表・同窓会代表・地域住民代表の方々の意見や評価を頂きました。

<自己評価>

[◎ ・ ○ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

今後とも外部の方々との連携や交流を深めて評価や意見を頂き、今後の学校運営に多いに役立てたいと思います。又、学校評価等で低い回答の項目に対して改善策を検討しての全教職員による実践が不可欠であります。それぞれの項目に対して全力に取り組みます。